

ほほえみ

私たちは人と人とのふれあいを大切にします。

地域とともにひろがる笑顔の輪、心の輪。

介護を要する人の安心と幸福を支え、

温かく、思いやりの心に

「ほほえみ」が生まれ

共に生き、未来を

育みます。



介護老人保健施設

たか みね

さと

高嶺の郷

〔理事長あいさつ〕

5年を機に、 新たな出発を！

「高嶺の郷」は平成14年9月1日に介護老人保健施設として開所し5年を迎えました。地域の皆様と関係者各位のご理解と温かいご支援をいただき、今日に至りました。深く感謝を申し上げます。

5年を振り返りますと、利用者様への医療・看護とともに、日常生活の営みへのリハビリ、介護サービスに腐心する日々の連続でしたが、職員共々が心身を粉に削って汗を流し、現在の活力を培ってくれました。心強い想いをいたしております。

現在、高齢化が進む中で今後の介護施設の役割を考えますと、ケアを積極的に担い、利用者の尊厳を守り、生活機能の維持・向上をめざし努力を続けることを基本としながら、地域に根ざした施設として「自立支援」、「介護の社会化」のために、人と人との

生きあう環境を育むことが、「高嶺の郷」の更なる使命と考えております。

昨今の介護保険制度改正等は、サービスの質向上が求められながら、制度の持続可能性に対応した施設給付の見直しを図られ、事業運営の費用対効果は一層厳しいものとなりました。

又、新予防給付サービスとも連携のとれた活動基盤の充実が必要となりました。その推進のため4月に開設しました「介護予防センター」の機能充実に努め、皆様の期待に応えてまいります。

この佳き日を機に、諸事業の取り組みを強化し、新たな出発といたします。改めて皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



菅原理事長

高嶺の郷

理念

- ・人間性の尊厳
- ・自立・自生、主体性の尊重
- ・全人間的復権
- ・地域社会の福祉医療への貢献



信条

1. 温かく、思いやりの心を持って利用者に接します。
2. 利用者のニーズに対して常に冷静、客観的に対処するよう心掛けます。
3. よりすぐれた技能を体得するよう日々努力を重ねます。
4. 利用者の方共々、職員同士の円満な人間関係を大切にします。
5. 介護・医療の活動の中で常に自らの心身の健康に留意します。

「これからの高嶺の郷」

平成十八年四月の医療・介護保険制度改正は、制度の持続可能を求めるとともに国民のニーズ、高齢者像に応えたサービスのあり方を見据え、改革の目的を明確にして行われました。

「高嶺の郷」が取り組むべきサービスに対しても、在宅支援への方向に転ずるための介護老人保健施設の変革が求められています。

その実現のため、私達全ての職員がその意を自覚し、ケアサービスの知識習得と技術向上に努め、利用者に求められる機能を明確にし、日々のサービスに生かす決意を促すものでした。

高嶺の郷の現状は、7月末現在、入所者において平均介護度3.04、利用者数は50人（満床状態）ですが、在宅復帰は月2、3人に止まる中、在所日数は1人平均168日です。通所リハビリ利用者は1日平均28.6人（定員40名）、平均介護度2.24となっています。

今、私たちの取り組みの中では、入所、通所部門とも、

① 利用者の在宅生活・療養での支援に繋がるADL（日常生活動作）の向上に、全てのスタッフが計画・実践の充実に努めます。



② 一日の生活では集団・個別リハビリだけではなく、食事、入浴、トイレ等あらゆる場所です自立と主体的な活動を引き出すための生活機能支援を行い、リハビリテーション施設としてのリハビリテーションを提供します。

③ リハビリや介護等の技術が職員だけのものでは、要介護者の生活機能支援は限られます。

家族介護教室、イベント等を通じて地域に根ざした施設として活動します。

を基本として事業を進めてまいります。

しかし、「高嶺の郷」が歩んだ5年は職員の研鑽・努力の積み重ねにより、一歩づつながらケアの向上に繋がってきましたが、近時の高齢化の進行とともに認知症高齢者の急速な増加が、介護現場のケアを一層難しくさせております。



ボランティアの受入れや

（次ページに続く）

このことは認知症の原因疾患に応じた医療とケアが必要となる中で、看護・介護部門では職員育成において人材確保等が現実の諸課題となつて立ち塞がりの日々でもあります。また、忙しい介護現場に職員ストレスも加わり、リスクの回避に気を配りながらの毎日が続いています。

そのような中にありながらも認知症高齢者に、楽しく好きなことに取り組む姿に笑顔と意欲を見つけ、仲間との交流に安心感が生まれる表情に安堵を覚えます。

学習療法や園芸療法では、その結果を褒めると利用者のやる気と笑顔が浮かびます。

その感動は「人の尊厳」を表わしています。

今後の「高嶺の郷」は、この地域にとつては懸念する思いでもありますが、国の療養病床削減策（38万床→15万床）を受け止め、菅原病院の30病床を転換させ、現在

の50床を80床に増床する予定です。

このことは来年4月オープン予定の特別養護老人ホーム（55床）と共に要介護者の連携支援の上でより効果的と判断し、双方施設での機能を充実させ、地域の皆さんの期待に応えてまいります。

以上の背景を踏まえて、私たちは「要介護高齢者に対する家族の理解を支援する」ため次の取り組みをこれからの「高嶺の郷」として推進をしてまいります。

① 利用者・家族との相互信頼を大切にし、ケアプランを在宅支援に繋げるため、「生活の工夫」を取り入れたサービスの選択に努めます。

② このため「高嶺の郷利用者自立支援基本計画」により、個別ケアプログラムの実践と、更なる計画の追加を図ります。

③ 具体的な内容は、「ふれあい、生活リハ、趣味、クラブ、レク、娯楽、外出、くつろぎ、情報」の各分類の様々なメニューを取り入れます。

④ 施設の活動を機関紙「ほえみ」により利用者様、ご家族様、地域の皆様にお伝えするとともに、催しもご案内します。

⑤ 「高嶺の郷」の活動が地域の皆様とも一体となつて推進するためにもボランティアの参加を募ります。

これらの諸活動を通じて、高齢化社会での地域福祉に貢献してまいりますので、地域の皆様、関係各位のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「高嶺の郷」

菅原 暁

・職員一同



老健のリハビリテーション

老健施設では、維持期のリハビリを担っています。身体機能を維持するだけでなく、生活の自立と在宅生活を支援していく大切な時期を受け持っています。

リハビリテーションの語源は高嶺の郷の理念の一つでもあります「全人的復権」と訳され、「人生の回復」「人間性の回復」をめざすことであり、介護施設の中では老健施設が最も期待される施設機能を有しています。

歩行訓練や立位訓練、生活動作訓練など利用者様の状態に合わせて、リハビリスタッフと看護・介護職員等が一日の活動（食事・入浴・排泄等も含む）を通して利用者様と係わりま

す。
訓練動作を紹介しますと、

「作業療法」



食事・入浴・排泄を含む
日常生活動作！

「理学療法」



起き上がる・座る・立つ・歩く
などの基本動作！

「マッサージ療法」



関節の可動域を広げるために
身体をほぐします！

「言語療法」



お口の体操を含む発語の練習！

利用者様の 俳句七首

高嶺の郷はたのしく通所日待た
眠れぬ夜十七文字を繰り返し
夏帽子小意気に被る老婦人
今朝花のおちて指先ほどの茄子
風鈴に老の繰り言ほぐされて
青すだれ花一輪で客を待つ
むだ話さらりと団扇で聞きなが
す

「高嶺の会」
作品集から

「 回想療法 」



昔の歌を歌い、懐かしい家事・
道具に触れ・遊び童心に戻ります！

「 学習療法 」



やさしい計算や音読で
脳が若くなります！

「 アロマセラピー 」



植物から取れる精油を使った
自然療法でリラックス効果 大！

「 園芸療法 」



土に触れ、野菜や花を育てながら
心が安らぎます！

「 レクリエーション 」

外出して、ひまわり園へ
行って来ました。



このように利用者のサービス開始時のケアプランやリハビリ計画に共通・個別サービスを組み合わせ、利用目的、要介護状態に応じたマネジメント等を行います。効果的な支援を行ってまいります。

又、利用者・家族のフォローを円滑に進めるため、相談窓口を設けるとともに「家族介護教室」の開催も予定しています。



5周年を祝って. . . . 職員制作

5周年の記録



創作品の数々



トライやるウィークでは
上郡中学校の
学生さんが参加。

山野里小学校
2年生との交流会。



レクレーションでの
風船バレーの風景。



感動から
涙・涙の
方も・・・



上郡中学校 吹奏楽部
による演奏会は 迫力満点！

行事の数々



6月9日（土）晴れ
○○さんは、部屋の中から
ピーマン苗の誘引指導をされま
した。
「茎を締め付けるように八の
字型に縛ることや」と車椅子を
ピーマンの支柱に見立て、結び
方をやさしく丁寧に話されま
す。
○○さん。椅子に座り暑い中
トマトの「誘引と芽かき」をし
てくださいました。
その後、○○さんの言われた
ピーマンの八の字結びをきれい
に仕上げてくれました。

園芸日誌から

学習療法から



8月4日（土）晴れ
計算と音読が毎回上達し、楽し
みに学んでくれる○○さん。会話
の中で秋野菜の準備を話しかけて
いたら、自宅で調べて来てくれま
した。
「長いこと使わなかった自分の
ワープロを孫の助けで打ちまし
た。」と満面に笑み。
○○さんの家族が「おばあちゃ
ん。この頃、明るくなりました
よ」とのこと。顔を合わせば「先
生」と手を振り声をかけてくれま
す。

ボランティア募集!

「高嶺の郷」でボランティアをしてみませんか?

あなたが行えること、行いたいことで力を貸していただけませんか?

たとえば、

囲碁、将棋、お話相手、ゲーム、手品、... 等々

園芸療法、学習療法の補助者。もちろん食事介助等も可能です。

団体、グループでの参加もお待ちしています。

「高嶺の郷」利用ご案内!

[入所] (施設入所サービス)

対象 病状安定期の要介護1~5の方
(県内・県外を問いません)
定員 50名
サービス 日生活動作訓練 リハビリテーション
看護・介護サービス 安定期の診療
各種療法 レクリエーション

[訪問リハビリテーション]

対象 居宅で療養中の、病状安定期にある
要介護1~5の方 (指定)
期間 月曜日~土曜日 (指定の時間)
サービス リハビリテーション 各種療法サービス

[テイケア] (通所リハビリテーション)

対象 居宅で療養中の、病状安定期にある
要支援(1・2)や要介護1~5の方
(上郡町、赤穂市のエリア内は送迎します)
定員 40名
期間 月曜日~土曜日 (朝から夕方)
サービス 日生活動作訓練 リハビリテーション
看護・介護サービス 安定期の診療
各種療法 レクリエーション

[相談]

施設利用や介護の相談は、
お気軽に相談室まで!
(0791 - 57 - 3250)

施設案内図。



- 交通案内: 山陽本線「上郡駅」下車、徒歩8分
- 環境: 上郡町の中心部 山野里に位置し、都市型の利便性と静けさが 調和した施設です。



併設医療機関 菅原病院



医療法人社団 豊寿会
介護老人保健施設 高嶺の郷

〒678-1241 兵庫県赤穂郡上郡町山野里2305番地1

TEL. 0791-57-3250 FAX. 0791-57-3253

ホームページ <http://takaminenosato.com/>

e-mailアドレス rouken@takaminenosato.com